

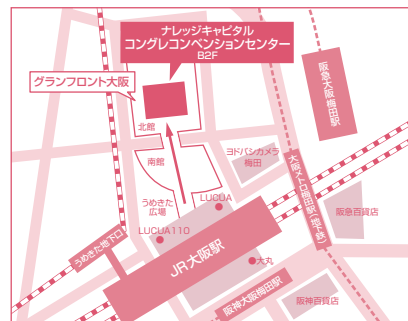
第21回

府民健康フォーラム

～私たちの暮らしと薬・栄養・臨床検査～

「腎臓の病気は、ある日突然起こるものではありません。」

高血圧や糖尿病、塩分の摂り過ぎ、運動不足などの生活習慣が長い年月をかけて腎臓に負担をかけ、気づかぬうちに慢性腎臓病（CKD）へと進行することがあります。腎臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、自覚症状が少ないため、早期発見と予防が大切です。本フォーラムでは、医師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師が、それぞれの専門的な立場から、腎臓を守るための生活習慣や食事、薬との付き合い方、検査の重要性について、わかりやすくお話しします。ご自身とご家族の健康寿命を延ばす第一歩として、ぜひご参加ください。



テーマ **生活習慣を見直して腎臓を守ろう**

会場 **グランフロント大阪** コングレコンベンションセンター（ルーム3）
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館B2F

日時 **令和8年10月25日（日）**
午後1時30分～午後4時30分

定員・入場料 **大阪府民200名・無料** [要申込]

プログラム

基調
講演

腎臓の必要性を考える

腎臓は様々な病気によって障害され、慢性腎臓病に至ります。生活習慣病はその一つですが、生活習慣病の一部は慢性腎臓病によって悪化するため悪循環になる問題を抱えています。今回、生活習慣病や慢性腎臓病とうまく向き合う方法を考えて行きたいと思います。

社会医療法人三上会 東香里病院 院長 **三上 聡司** 先生

講演
Ⅰ

腎臓の臨床検査について

腎機能低下を早期に発見するためには、血液や尿検査で腎機能を調べる必要があります。腎機能検査にはどのようなものがあるか、どんなふうに結果を見れば良いかを分かりやすく講演いたします。

関西医科大学附属病院
臨床検査医学センター・主任 **伏見 祥広**

講演
Ⅱ

腎臓を守るための薬と生活習慣のポイント

腎臓は一度悪化すると回復が難しい沈黙の臓器です。

医薬品はもちろん手軽に購入できる市販薬やサプリメントの腎機能低下を招く恐れがあります。本講演ではこれら薬剤の注意点と、大切な腎臓を日々の生活習慣から守るためのポイントについてお話しいたします。

一般社団法人 大阪府薬剤師会 理事 **池内 亜希**

講演
Ⅲ

腎臓病の進行を抑制するために、食事を見直してみよう

慢性腎臓病の食事療法のポイントは、必要エネルギーを摂取した上での低たんぱく質食、食塩、カリウム制限です。高齢者や疾患による差、植物性たんぱく質の重要性、強固なカリウム制限の問題点など、最新の情報を加えてお話しします。

大阪府栄養士会透析食研究会 所属
佐々木クリニック 管理栄養士 **村田 美香**

下記URL もしくはWEBシステムよりお申込みください

<https://forms.gle/U156vpRo9iwAuMHw7>



※お申込内容は、本フォーラムの関連業務以外には使用いたしません。

お問合せ先 一般社団法人 大阪府薬剤師会「府民健康フォーラム」係 Tel.06-6947-5481（平日 午前9時～午後5時）

主催：一般社団法人 大阪府薬剤師会・公益社団法人 大阪府臨床検査技師会・公益社団法人 大阪府栄養士会 後援：大阪府、大阪市